

日米共同訓練（国内における米陸軍との実動訓練）の概要についてのお知らせ

陸上自衛隊が、以下のとおり国内における米陸軍との実動訓練（オリエント・シールド19）を実施しますので、お知らせします。

1 目的

陸上自衛隊及び米陸軍の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、共同対処能力の向上を図る。

2 期間 令和元年8月26日（月）～9月23日（月）

3 場所 健軍駐屯地、大矢野原演習場、高遊原分屯地、奄美駐屯地、矢臼別演習場

4 担任官

(1) 日本側：西部方面総監 陸将 もとまつ なかし 本松 敬史

(2) 米軍側：在日米陸軍司令官 少将 ヴィエット X. ルオン

5 訓練実施部隊

(1) 陸上自衛隊

○第4師団第16普通科連隊、第2高射特科団、西部方面特科隊 等（約950名）

○装備品

03式中距離地对空誘導弾、多連装ロケットシステム

12式地对艦誘導弾、対戦車ヘリコプターAH-1S 等

(2) 米陸軍

○第33歩兵旅団戦闘団第2-106騎兵大隊、第17砲兵旅団

在日米陸軍航空大隊、第1-1防空砲兵大隊 等（約950名）

○装備品

高機動ロケット砲システム（HIMARS）、多用途ヘリコプターUH-60 等

これらの訓練内容のうち、矢臼別演習場で予定されている内容は次のとおりです。

①訓練内容 多連装ロケットによる射撃訓練

②射撃予定日 令和元年9月15日（日）

ただし、天候状況により実施日を変更する場合があります。

問合せ先 ●陸上幕僚監部広報室 電話 03-3268-3111（内線 40084）

●別海町役場総務部総合政策課まちづくり推進担当

電話 0153-75-2111（内線 2211）